

「乳がん」は早く見つけて早く治療する事が大切 相談支援センターや地域の情報もぜひ参考に！

私は、今は寛解していますが、9年前に乳がんの手術を受けた「乳がんサバイバー」です。発見のきっかけはセルフチェックでした。かつて乳がんの経験のある女性芸能人の方が、「乳がんのしこりは、柔らかい肉まんの中に埋まっている梅干しの種のような感じ」と話していましたが、まさにそのとおりでした。

今や日本人の2人に1人が「がん」になる時代。なかでも、女性の9人に1人が乳がんにかかると言われていています。早期発見が大切という事を頭では理解していても、なかなか検診となると躊躇（ちゅうちょ）してしまうものです。しかし、早く見つけて早く治療することができれば、治る可能性が高くなり、治療の選択肢も多くなります。

神奈川県では、がん患者の皆さんやご家族、あるいは地域の方々からのがんに関する相談を無料でお受けする「がん相談支援センター」が設置されています。藤沢市内では、地域がん診療連携拠点病院である「藤沢市民病院」がそれにあたります。

さらに、県では「がんサポートハンドブック」を作成しており、「がん」に関する地域の情報が分かりやすくまとまっています。インターネットで閲覧できますので、ぜひご覧になってみてください。

毎年10月はピンクリボン月間。県内の施設がピンクにライトアップされ、各地で啓発のイベントが開催される予定です。どうかこの機会にあなたとあなたを大切に思う人たちのために、検診のきっかけを得ていただければと思います。



神奈川県議会議員

おだ 幸子さん

プロフィール

藤沢市辻堂東海岸在住
明治大学政治経済学部・日本工業大学専門職大学院卒業

2014年乳がんの手術を受ける。働きながら再発防止のホルモン療法を5年間続け、その間、副作用に悩みながらも中小企業診断士の資格に挑戦し合格。専門職大学院の客員教授も務めた。現在は寛解。

2023年4月神奈川県議会議員選挙初当選

家族は夫と大学生の息子

ご意見ください

【連絡先】

神奈川県議会公明党控室

TEL 045-210-7630

HP・SNS <https://lit.link/odasatiko>

HP・SNSは
こちらから



<https://s-el.jp/k/os>